

# 社会科学習指導案

横浜市立汐入小学校

小池 智宏

1 日時 平成27年11月18日(水) 第5校時

2 学年・組 第5学年1組 39名

3 単元名 「暮らしを支える情報」

4 単元目標

テレビ放送などを通して送られてくる情報やコンピューターシステムを利用した情報伝達システムの現状、また、それらが利用されている様子を調べることを通して、私たちの生活が情報化の進展によって、大きな影響を受けていることや、情報の有効な活用や責任をもった関わり方が大切であることを考えることができる。

5 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"><li>・放送、新聞などの情報産業が広く伝える情報や、さまざまな場面で広がる情報ネットワークの活用が、自分たちの生活にもたらす影響について、意欲的に調べようとしている。</li><li>・社会の情報化の進展に関心をもち、情報の有効な活用について自分なりに考えようとしている</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・放送・新聞などの情報産業のはたらきや情報化の進んだ社会の様子と、自分たちの生活との関わりについて、学習問題や予想、学習計画を考え、適切に表現している。</li><li>・情報産業のはたらきや情報化した社会の様子と関連づけて、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考え、適切に表現している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料やインターネットを活用して、放送・新聞などの情報産業のはたらきや情報化した社会の様子について必要な情報を集めて読み取っている。</li><li>・調べてわかったことや考えたことを、ノートやレポートなどにわかりやすい構成でまとめている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・放送・新聞などの情報産業のはたらきや、情報ネットワークの活用などに見られる情報化の進んだ社会の様子について理解している。</li><li>・情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることを捉えるとともに、情報の有効な活用が大切であることを理解している。</li></ul>

## 6 単元について

### ①児童の実態

本学級の子どもたちは、資料から分かることをノートにまとめたり、気になることをインターネットを使って調べたりして、しっかりと課題に取り組もうとしている。世界の国々の学習では、地図帳を使って世界の様々な地域の様子を調べ、世界には自分たちとは違った生活をしている国もあることを理解することができた。特色ある地域の暮らしでは、写真資料から分かることを出し合って、台風から身を守る生活の工夫や沖縄の特産品を調べ、授業以外の場面でも、沖縄の特産品を見たということを話していた。また、ニュースに関連した地名を地図帳で調べ、索引を使って調べたり、その周囲の様子を調べたりしてきた。

情報とのかかわりについては、普段からスマートフォンをもち、友達とメッセージをやり取りしたり、携帯ゲーム機をインターネットに接続してゲームを楽しんだりしている児童が多い。携帯電話をもっている子どもたちの多くは家庭でルールを決め、それに従って使用しているようである。しかし、一方でテレビや新聞などのメディアと関わりはあまりないようである。そのため、帰りのスピーチで、日直が自分の気になるニュースを取り上げ、それに対する自分の考えを話すようにしている。

情報の活用について実態調査のアンケートを行った。普段からインターネットを使って情報を得ている子どもは39人中14人でテレビの34人と比べると少ない。従来型の携帯電話を持っている子供は11人、自分のスマートフォン・タブレットを持っている子供は10人、自分のものはないが、保護者や兄弟のものを使っている子は15人となっている。これらのことから、ゲーム等の用途で端末に接したことがある子どもは多くいると考えられるが、日常的に情報を収集するために積極的に使用したことがある子どもはそれほど多くないと考えられる。

また、インターネットを使っていて困った、怖い思いをしたことはあるかという問いには、迷惑メールが送られてくるようになったという子どもが1人いたが、それ以外は特にないと回答であった。インターネットを活用する中で、困ったことに対処した経験は多くないと考えられる。具体的な事例を通して、なるべく身近で具体的な事例を取り上げることで、自分事として考えられるようにしていきたい。

### ②単元について

私たちの今の生活は、テレビやインターネットによりいつでも大量の情報を手に入れることができるようになってきている。子どもたちも様々な情報端末に触れ、インターネットでつながることが当たり前の世の中で生活している。だからこそ、正確な情報を発信するために努力している人々の姿や、情報化される前と比較して便利になった社会、情報化したからこそ情報の受け手、送り手として情報の有効活用を考えさせることが必要になっている。

本単元では、前半でテレビ番組ができるまで、後半では自分たちの住む鶴見区を津波から守るための津波警報伝達システムを扱う。そして、単元のまとめとして情報化が進んだ社会における課題について学習する。インターネット上にある様々な情報に対して、適切に判断し行動できる「情報活用能力」の基礎を養い、これから大人の社会に近づいていく子どもたちが、インターネットを有効に利用して、豊かな生活を送ることができるよう、考えさせたい。

## 7 区視聴覚・情報教育研究部の主題との関連

### 【研究主題】

「視聴覚機器の積極的活用・情報活用の実践力を高める学習」のあり方  
～ICT教育の環境整備を通して～

「子どもの視聴覚機器、情報の活用力を高める学習」のあり方  
～ICT教育の環境整備を通して～

#### (1) 主題に迫るための手立て

本学級では、大型テレビの横に教室用 PC を配置し、RGB ケーブルと音声ケーブルでつなぐことで、PC の情報を大型テレビに映し、活用している。理科の時間には NHK for School の動画クリップを視聴して実験の振り返りをしたり、学習内容のまとめをしたりして、理解を深めた。総合的な学習の時間に米作りの 1 年を視聴して、児童の理解が深まるように視聴覚機器を活用している。

また、大型テレビの反対側には実物投影機を置いた机を配置し、ケーブルをつなぎかえることで、両方の機器を使用できるようにしている。算数で発言する際に自分のノートを映して発言をしたり、紙の資料をテレビに映し出したりして使用している。

本校の学習メディアセンターには児童用 PC が 40 台あり、図書資料と併用して使用して、インターネットを使用した調べ学習も行っている。

本単元では、子どもたちがインターネットを上手に活用していけるよう、適切に判断する力を育てたい。子どもたちが問題となる場面を具体的につかめるよう、神奈川県県民局くらし県民部消費生活課のインターネットトラブルの疑似体験のサイトを活用することで、インターネットにあまり触れていない子どもも理解しやすくなるのではないかと考えた。

#### (2) 使用する機器等

- ・大型テレビ 1 台
- ・教室用パソコン 1 台
- ・音声ケーブル 1 本

#### (3) 参考 WEB ページ

神奈川県県民局くらし県民部消費生活課

【疑似体験サイト】インターネットの危ない世界ー君も体験！サイバーの罠ー

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0207/int/index.html>

【疑似体験サイト】インターネットの危ない世界 PART2 ースマートフォン・タブレット編ー

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0207/intsma/>

8 単元の指導計画 全 11 時間扱い

	○児童の学習活動 ・ 学習内容	教師の支援 (◇) と評価 (◆)、資料 (資)
1	○緊急地震速報が届く仕組みを調べ、情報が人々の生活にどのように影響を及ぼしているか、関心をもつ。	(資) 震災時の写真、緊急地震速報が届くまで (教科書 P4,5) ◆情報が多くの人にすばやく伝わる仕組みについて興味を持っている。(関心・意欲・態度)
2	○テレビのニュース番組ができるまでを調べ、情報を伝える人々のはたらきを理解する。 ・多くの情報の中から必要な情報が選ばれて放送されていること ・放送局の人は情報をはやく、正確に伝えようとしていること	(資) テレビ番組ができるまで (教科書 P6,7) ◆ニュース番組ができるまでの様子と大切にしていることを読み取ることができる。(技能)
3	○緊急災害時の情報収集について調べ、さまざまなメディアの特色や、使い分けて情報を得ることの大切さを理解する。 ・情報を伝えるメディアには様々なものがあること ・状況に応じてメディア・情報の活用が必要なこと	(資) 災害時に情報を得ている様子 (教科書 P8,9) ◆様々なメディアの特性を理解し、使い分ける必要性をとらえている。(知識・理解)
4	○放送局や新聞社で働く人が情報を発信するためにさまざまな注意を払っていることを調べ、自分の生活との関係を考える。 ・私たちは日々の生活の様々な場面で情報を生かして生活していること	(資) 編集責任者の話 (教科書 P10,11) ◆自分たちの生活とマスメディアの情報の関わりをとらえている。(知識・理解)
5	○情報ネットワークでつながる図書館について調べ、活用されている情報ネットワークについて調べる意欲をもつ。 ・図書館では情報ネットワークがあり、利用者の人が便利になったこと	(資) 横浜市立図書館蔵書検索のページ ◆情報ネットワークを活用した図書館を調べ、情報ネットワークの活用に興味をもつ。(関心・意欲・態度)
6	○津波防災システムについて調べ、緊急時にネットワークを通してすばやく情報を伝えられるように構成されていることを理解する。 ・津波警報伝達システムでは、津波が起こった時にいつでもすばやく情報を伝えることができるようになっていること	(資) 津波防災システムの図 ハザードマップ ◆津波警報伝達システムのはたらきを読み取っている。(技能)
7	○津波防災システムを管理している I さんの話から、情報を得るだけでなく、情報を有効に活用して避難することが大切であることを考える。 ・情報は得るだけでなく、有効に活用する必要があること	(資) 危機管理室 I さんの話 津波警報システムのメッセージ ◆災害が起こったとき、多様な情報を有効に活用して行動することの大切さを考えている。

		(思考・判断・表現)
8	<p>○インターネットの普及による社会の変化を考え、情報の受信と発信について関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの広まりによって社会の情報化が進んでいること</li> <li>・インターネットの広まりによって、生活が便利になったこと</li> </ul>	<p>(資) インターネットによる様々なつながり (教科書 P22)</p> <p>◆インターネットにより利便性について調べようとしている。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p>
9	<p>○インターネット上での情報の問題点と自分のとるべき行動について、自分なりに考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットの利用には課題や不安があることを疑似体験を通して考える。</li> </ul>	<p>(資) インターネットにかかわる相談件数のグラフ</p> <p>(資) 「インターネットの危ない世界ー君も体験！サイバーの罠」「インターネットの危ない世界 PART2 ースマートフォン・タブレット編ー」</p> <p>◆インターネット上の情報に対して、困ったことを考えることができる。</p> <p>(思考・判断・表現)</p>
10 本時	<p>○インターネット上での情報の問題点について考えることを通し、インターネット上の情報に対して、適切に判断し行動することを考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを利用するためには、情報に対して適切に判断する必要があること。</li> </ul>	<p>◆インターネット上の情報に対して、適切に判断し行動することを考えることができる。</p> <p>(思考・判断・表現)</p>
11	<p>○情報化が進んだ社会についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報化が進んだ社会において、情報を有効に活用するための情報との接し方</li> </ul>	<p>◆情報化が進んだ社会において、自分がどのようなことに気を付ければよいか考えている。</p> <p>(思考・判断・表現)</p>

9 本時について

(1) 本時目標

インターネット上での情報の問題点について考えることを通し、インターネット上の情報に対して、適切に判断し行動することを考えることができる。(思考・判断・表現)

(2) 本時の展開 (10/11 時間)

児童の活動 (○) と予想される児童の反応 (・)	教師の支援 (◇) と評価 (◆)、資料 (資)
<p>○前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットが広がったことで、買い物をしたり、すぐに相手とやり取りをしたりすることができるようになった。</li> <li>・ゲームで友達とかかわることができるようになった。楽しい。</li> </ul>	<p>◇前時までに学習したインターネットが広がったことでの変化を想起できるよう発問する。</p> <p>(資) インターネットにかかわる相談件数のグラフ</p>
<p>インターネットの問題点は何だろう？</p>	
<p>○前時の疑似体験から、インターネット社会で気を付けることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報を読まないように気を付ける。</li> <li>・約束の文章をよく読んでから、買い物をする。</li> <li>・自分が言ったことに責任をもてるようにする。</li> <li>・ゲームでお金を使いすぎないようにする。</li> </ul>	<p>◇一人で考えることが難しい場合には、隣同士でききあい、考えることができるよう声掛けをする。</p>
<p>○インターネット社会の一番の問題点について、考える。</p>	<p>◇全員が考えをもてるように、座席をグループの形にし、グループで分からないことを相談し合えるようにする。</p>
<p>○インターネット社会で自分が考える一番の問題点を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だまして情報をぬすみとろうとする人がいることだと思う。情報を正しく使えば便利なのに、悪いことをしようとする人がいるから問題が起こる。</li> <li>・Aさんのように、やっぱり情報を悪いことに使っているからだと思う。だから、そういう人がいることを忘れてはいけない。</li> <li>・互いに顔を見たり、商品を確認したりできないことだと思う。話せばわかることでも、伝わらないことがあるから。</li> </ul>	<p>◇どの考えも正しいことであることを確認し、認め合えるようにする。</p>
<p>○学習を終えての自分の考えをノートに記述する。</p>	<p>◆インターネット上の情報に対して、適切に判断し行動することを考えることができる。</p> <p>(思考・判断・表現、ノート記述)</p>

